

令和元年11月

## 普及活動報告

### 京都丹波米良食味推進協会がおいしいお米コンテストを開催

(全域：1日)



外観審査、実食審査を行う審査員

出品されたコシヒカリとキヌヒカリの全76点から、整粒率や食味計で測定した食味値による予備審査で選抜された16点について外観及び実食審査を行いました。

審査員からは「どれもおいしく審査が難しかった」との声がもれました。

普及センターは、今後もコンテストなどを通じて美味しいお米づくりや市場評価の高い米の生産を支援していきます。



審査準備を行うスタッフ

場 所 農林センター

出席者数 26名

全国食味ランキングで3年連続特Aの丹波キヌヒカリは南丹管内から出品されています

京都府南丹農業改良普及センター

令和元年11月

## 普及活動報告

### 亀岡市地域農業生産協議会担い手部会が 先進地視察研修を開催

(亀岡市：5日)



先進農家で熱心に研修を受ける新規就農者

亀岡市の新規就農者が露地コカブ（右京区）及び施設キュウリ・シュンギク（南丹市）の先進農家を訪問し、温度管理の方法や連作障害の回避のための技術、経営上の工夫や心構えなどについて説明を受け、質疑応答が行われました。

「無加温施設で抑制キュウリを日量の変動をなるべく小さく収穫する整枝や温度管理の方法が参考になった」「農業を行う上で取引先との信用や仲間づくりが大切であることが改めて分かった」などの感想が聞かれました。

また、先進農家から「今後もいつでも来てください」と言っていたき、先輩農家との繋がりもできました。

普及センターは、引き続き関係機関とともに新規就農者のほ場巡回を行い、栽培及び経営を支援していきます。

場 所 京都市右京区  
南丹市園部町南八田  
出席者数 21名

亀岡市では、新規就農者約70名（研修中含む）を対象に若手農業者研修会を年に数回開催しています

京都府南丹農業改良普及センター

令和元年11月

## 普及活動報告

～来年の米生産に向けて～

エコファーマーが特別栽培米研修会を開催

(亀岡市：11日)



来年産水稲栽培に向けてポイントを説明

亀岡市西別院町の犬甘野営農組合が特別栽培米についての研修会を開催し、普及センターから農薬・肥料の使用回数・量や夏期の高温対策等について、留意点を説明しました。

出席者からは、雑草防除対策や生育初期の低温期における分けつ促進のための施肥のポイント等について、活発な質問がありました。普及センターは今後も、環境にやさしい農法に取り組む営農組合の活動を支援します。

場 所 犬甘野営農センター

参加者数 13名

犬甘野営農組合エコファーマー認定者43名

京都府南丹農業改良普及センター

令和元年11月

## 普及活動報告



泥が入らないように収穫



株元をきれいにして袋詰め



元気に接客

### ～南丹地域における農福連携事業～ 「チャレンジ・アグリ認証(基礎課程:後 期)」第6回(最終回)を実施

(13日)

最終回となる今回は、コマツナの収穫と販売体験を行いました。ハサミを使って泥が付かないよう丁寧に収穫した後、作業場では、株元の掃除と計量・袋詰めを交代で作業し、販売用のコマツナ72袋をつくりました。その後、園部総合庁舎において販売体験を行ったところ、約30分で完売しました。

受講生達は、一所懸命作業し、また積極的に接客しながら販売していました。普及センターは、今後も農福連携に向けた支援をしていきます。

場 所 園部町内林町ほか  
参加者数 15名

9名の受講生が卒業しました

京都府南丹農業改良普及センター



令和元年11月

## 普及活動報告

### ～兵庫県の先進地に学ぶ～亀岡国営ほ場整備連絡会が視察研修会を開催

(亀岡市：21日)



室内で概要説明を受ける

亀岡中部のほ場整備地区の29名の農家が参加して、兵庫県の営農先進地を視察し、今後の営農活動の参考にしました。

参加者は「ほ場整備後の水稻の面積は?」「水稻の他に何を栽培しているのか?」等、視察先の農家に質問していました。今後も普及センターは、ほ場整備後の円滑な経営の確立に向け支援します。

場 所 兵庫県篠山市、氷上町

出席者数 42名



倉庫等の施設を見学

亀岡中部国営ほ場整備：6工区、444ha

令和元年 1 1 月

## 普及活動報告

### ～町内農業の活性化を目指して～京丹波町若手農業者研修会が開催されました

(京丹波町：22日)



開催主旨説明

京丹波町の農業者を中心に企画・運営されるこの会は、今回で3回目となりました。若手農業者と関係機関が集い、町内における地域振興の取組みや農業経営、各関係機関の取組内容について学びました。普及センターからは、今年度の普及計画について概要を説明しました。

研修後に交流会が開かれ、それぞれの経営の状況や目指す営農などについて積極的な意見交換がありました。普及センターは、今後も若手農業者の栽培技術の向上や経営改善に向けた指導を行います。



普及センターの活動を紹介

場 所 道の駅「和」

出席者数 34名

京都府南丹農業改良普及センター

令和元年11月

## 普及活動報告



先進農家のほ場を見学



ランチミーティングで意見交換

### ～先進農家とランチミーティングで交流～ 第2回京都丹波有機農業サロンを開催 (25日)

今年度は、有機農業を実践されているほ場について、春夏作と秋冬作の両方を見学したいとの参加者の要望に応えるため、6月に続いて左京区大原地区を訪れました。

有機JAS認証を取得済のほ場で、生産者から土づくり、野菜の生育状況や害虫被害について説明を受けた後、意見交換会を行いました。

参加者からは「とても有意義な意見交換が出来た」「南丹からも野菜を持っていきたい」との感想がありました。普及センターは今後も有機農業者相互の交流促進を図ります。

場 所 京都市左京区大原  
出席者数 34名

京都丹波有機農業サロンは南丹管内の有機農業実践者や志向者が参加し、  
毎年2回程度開催  
第1回(6/18)は参加者23名、今回は14名

京都府南丹農業改良普及センター

令和元年11月

## 普及活動報告

### ～ハイレベルな発表で京都府代表に～京都府農業青年プロジェクト発表会に出場 (26日)



熱心に発表する谷村さん

クラブ員の谷村岳志さん（亀岡市）が「営業力を活かし若手農家が稼げる仕組み作り」と題して、若手農家が主役の農業関連産業の「生態系」を産み出して若手農業者の経営の改善と確立を図る、としました。その結果、最優秀賞となり、1月14日に和歌山県で開催される近畿大会に、京都代表として参加することとなりました。

発表した谷村さんからは「経営成長に前向きな若手農家とつながり、ともに成長していきます」など前向きな発言がありました。普及センターは、青年クラブ活動や個別の経営指導を通じて農業青年の資質向上と自主的な活動を支援しています。

場 所 京都平安ホテル  
出席者数 25名

京都丹波農業青年クラブ会員数26名（亀岡市10名、南丹市8名、京丹波町6名、京都市1名、高槻市1名）  
前身の「船井農業青年クラブ」は、昭和46年2月に結成

京都府南丹農業改良普及センター



令和元年11月

## 普及活動報告



美山ふるさと祭り（2日）



京丹波町質美 秋のふれあい祭り（17日）



馬路大納言小豆品評会（29日）

### ～丁寧なものづくりの成果を競う～

#### 各地で農産物品評会開催

（各地）

実りの秋を迎え、各地で農産物品評会が開催され、普及センターは審査員として参加しました。

今年は台風や豪雨の大きな被害はありませんでしたが、梅雨明けが7月末までずれ込み、8月は厳しい暑さが続き、10月は雨が多く、相変わらずものづくりには難しい環境でした。

しかし、そんな中でも、評価会の出品物は生産者の技術の高さと細やかな配慮が随所に見られる逸品ぞろいで、甲乙付けがたいものばかりでした。

普及センターでは、今後も質の高い農産物づくりを支援します。

#### 【参加した品評会】

2日 美山ふるさと祭り（南丹市）

出品48点（金賞1、銀賞2、銅賞3点）

17日 京丹波町質美 秋のふれあい祭

出品58点（特別賞5、優秀賞7点）

29日 馬路大納言小豆品評会（亀岡市）

出品14点（上位4点が特別賞）

京都府南丹農業改良普及センター